

# 田川地区の県立高校再編整備計画 ＜第2次計画（骨子案）＞に係る 地域説明会

平成 29 年 11 月 1 日（水）庄内町会場 庄内町商工ふれあい会館コアアルザ

平成 29 年 11 月 2 日（木）鶴岡市会場 出羽庄内国際村

\* 時間は各会場とも午後7時から午後8時 30 分まで

## 次 第

1 開 会

2 県教育委員会あいさつ

3 説 明

田川地区の県立高校再編整備計画＜第2次計画(骨子案)＞について

4 質疑応答

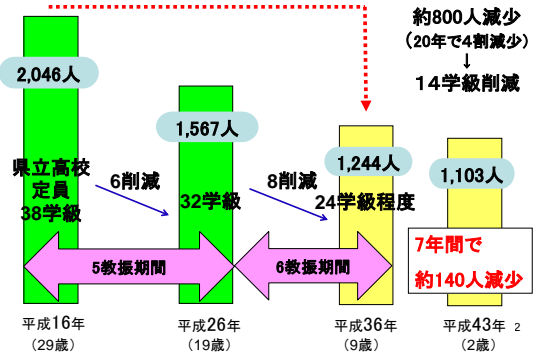
5 閉 会

## 田川地区の県立高校再編整備計画 ＜第2次計画(骨子案)＞に係る 地域説明会

山形県教育庁高校改革推進室

1

### 少子化の進行(田川地区の中学校卒業生数の推移)



### 高校再編整備の必要性

#### 少子化への対応

- 中学校卒業生数の減少
- 高校入学定員の削減
- 学校規模の縮小
- 学校の活力・教育機能の低下

#### 社会の変化に対応し 山形の未来をひらく人づくり

- ◇挑戦する意欲を引き出す教育
- ◇学力の向上に向けた取組み
- ◇地域を支える人材育成
- ◇幅広い選択肢の確保
- ◇キャリア教育の充実
- ◇多様な生徒の学びの場の確保

### 高校の再編整備による望ましい教育環境の確保

※一方、地域の実情に応じて小規模校への配慮も必要

3

### 田川地区の県立高校再編整備計画

#### (1) 検討の経過

外部有識者等による検討委員会(H23.8~H24.8)

↓ アンケート、意見聴取、地域説明会

「田川地区の県立高校再編整備計画」(H25.3策定)

#### (2) 計画の要点(8学級の減、再編の方向性)

- ①普通科を2校に集約し、適正規模を確保
- ②工業科は、単科型専門高校とする
- ③農業科、水産科は、総合学科と連携  
小規模化が更に進んだ場合、校舎制の導入を検討
- ④総合学科は、当面現在の2校配置を維持し、在り方を検討
- ⑤定時制・通信制等を統合し、多様なニーズに対応

4

### 田川地区の県立高校の配置状況

	H16	H29	H36
鶴岡南	6(普5・理1)+通	5	4
鶴岡北	5(普5)	4	3
鶴岡工業	7(工全6・工定1)	6	5
鶴岡中央	8(普4・総4)	7	6
加茂水産	2(水2)	2	1
庄内農業	3(農3)	2	2
山添	2(普2)	1	1
庄内総合	4(総4)	3	2
温海	1(普1)	0	
計	38学級	30学級	24学級

※H36の数字は、すべての学校が存続した場合の各校の学級数の例

5

### 第2次計画における学校の配置

#### 庄内中高一貫校(仮称)

普通科・理数科

※ 鶴岡南と鶴岡北を統合し、  
県立中学校を新設(H36まで)

#### 庄内総合

総合学科(全定)・普通科(通)

※ 定時制(昼)と通信制を  
新設(H34)

※ 山添校は募集停止(H32)

※ 鶴岡南(通)在籍者は庄内に転学(H34)

#### 鶴岡工業

工業科(全)

※ 定時制は募  
集停止(H34)

#### 鶴岡中央

普通科

総合学科

#### 加茂水産

水産科

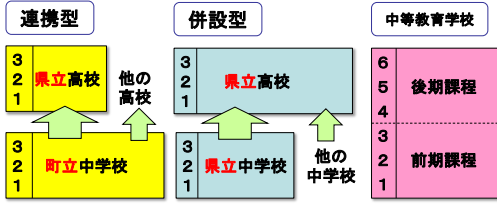
#### 庄内農業

農業科

※ 統合した上で3校舎を活用=「校舎制」、  
実施年度等は今後検討し第3次計画で明示

6

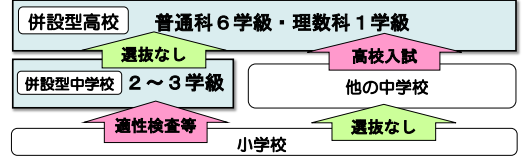
### 中高一貫教育校とは



- <本県の状況>
- ◇ 連携型 …… H13から金山と小国で実施
  - ◇ 併設型 …… 「山形県中高一貫教育校設置構想」(H21.6)
  - ※ 内陸地区と庄内地区にモデル校を設置
    - ↳ 東桜学館中学校・高等学校開校 (H28.4)

7

### 庄内中高一貫校(仮称)の学校像



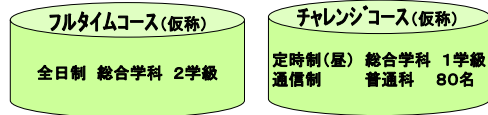
- ◇ 鶴岡南と鶴岡北の校舎・敷地を活用
- ◇ 通学区域は県内一円

#### <教育上の主な特色>

- 教育課程の特例を活用し、6年間一貫した計画的指導
- 大学・研究機関や企業と連携した探究型の学習の推進
- 実践的コミュニケーション力や論理的思考能力の育成
- 庄内の自然、産業、文化などに関わる体験活動の充実

8

### 庄内総合高校について



- ◇ 生徒個々の多様な学習ニーズに応える総合的な高校
- ◇ 通学区域は県内一円

#### <教育上の主な特色>

- 豊富な選択科目を開設し、多様な進路希望に幅広く対応
- 定通併修制度により3年での卒業も可能(チャレンジコース)
- 少人数指導による基礎学習の充実、学び直しへも対応
- 地域資源を生かした実習・体験型の学習の充実

9

### 今後のスケジュール

年度	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36
新しい学校づくり	教育基本計画の策定	開校整備委員会			開校準備委員会	中高一貫校の開校	
	教育基本計画の策定	開校整備委員会	開校準備委員会		庄内総合の定通の新設		
	校舎制に関する検討				校舎制による新高校の開校準備		
学級増対象校	鶴岡北	鶴岡中央	山形校 募集停止		鶴工(定) 募集停止	中高一貫校 (有学級) 未定	開課程

10

### 第2次計画策定に向けて

- ◇ 地域説明会 (11月1日、2日)
- ◇ パブリックコメント (10月16日~11月15日)
- ◇ 県議会、県教育委員会、関係諸団体との協議
- ◇ その他随時意見を聴取

平成30年1月県教育委員会での策定の予定

11

### 田川地区の県立高校再編整備計画 <第2次計画(骨子案)>に係る 地域説明会

ご清聴ありがとうございました

12

## 田川地区の県立高校再編整備計画<第2次計画(骨子案)>

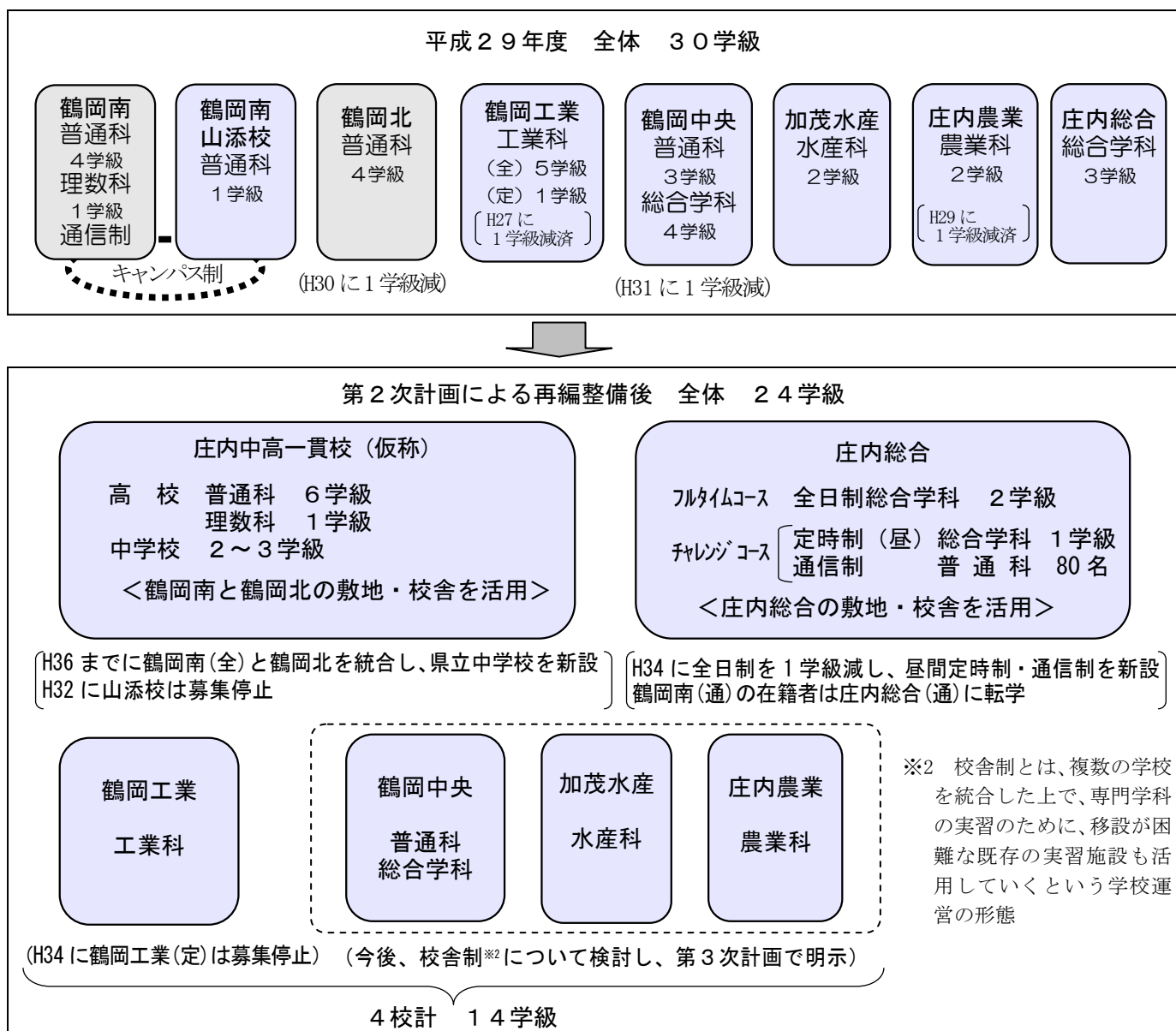
### 1 田川地区の県立高校再編整備計画(平成25年3月策定)の要点

- (1) 田川地区の中学校卒業生数の大幅な減少に対応して、平成27年度から平成36年度の10年間で、入学定員を8学級程度削減する。
- (2) 平成36年度を目処に次の方向で再編整備を行う。
- ① 普通科を2校に集約し、適正規模を確保する。
  - ② 工業科については、単科型専門高校とする。
  - ③ 農業科、水産科については、総合学科と連携するとともに、小規模化が更に進行した場合、校舎制(下記参照)の導入を検討する。
  - ④ 総合学科については、当面は現在の2校配置を維持し、在り方を検討する。
  - ⑤ 定時制・通信制等を統合し、多様なニーズに対応する。

### 2 第2次計画における学校の配置

◇ 上記1の計画及び「山形県中高一貫教育校設置構想<sup>※1</sup>」(平成21年6月策定)を踏まえて、下のおり再編整備を進めます。

※1「内陸地区と庄内地区に併設型中高一貫教育校のモデル校を設置する。」



### 3 庄内中高一貫校（仮称）と庄内総合高校の特色

**庄内中高一貫校（仮称）**

目指す学校像

高等学校

中学校

県立中学校と県立高校を併設した庄内初の中高一貫教育校

6年間の継続的な学習を通して、生徒の能力を最大限に伸ばす学校

**主な特色**

- 高校の学習内容を一部先取りするなど、高いレベルの授業を実施
- 大学・研究機関や企業と連携し、自ら設定した課題の解決に向けて、主体的・協働的に学ぶ探究型の学習を推進
- 外国語教育や理数教育を充実させ、グローバル化に対応した実践的なコミュニケーション能力や、数学的・科学的思考に基づき判断・表現できる力を育成
- 庄内の自然、産業、文化などに関わる体験活動を充実

**庄内総合高校**

目指す学校像

フルタイムコース（仮称）  
全日制総合学科

チャレンジコース（仮称）  
定時制（昼）総合学科 通信制普通科

多様な形態の学びが可能な県内初の全日制、定時制（昼）、通信制併設高校

地域とともに自立した社会人の養成を目指す学校

**主な特色**

- これまでの全日制総合学科に加え、新しく「チャレンジコース（仮称）」を設置し、生徒個々の多様な学習ニーズに応える総合的な高校
- 普通教科と専門教科から豊富な選択科目を開設し、大学等への進学や就職などに幅広く対応
- 少人数指導による基礎学習の充実、学び直しへも対応
- 地域資源を生かした実習・体験型の学習の充実
- 外部機関と連携したソーシャルスキルトレーニング等、社会的な自立に向けた支援

### 4 今後のスケジュール（予定）

年度	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36
新しい学校づくり	教育基本計画の策定	開校整備委員会			開校準備委員会	中高一貫校の開校	
	教育基本計画の策定	開校整備委員会	開校準備委員会		庄内総合の定通の新設		
	校舎制に関する検討				校舎制による新高校の開校準備		
学級減対象校	鶴岡北	鶴岡中央	山添校 募集停止		鶴工（定） 募集停止	中高一貫校 未定	(7学級で募集)
			.....▶(閉校)			.....▶(閉課程)	

（問い合わせ） 山形県教育庁高校教育課高校改革推進室  
 電話 023-630-2493 Fax023-630-2774

## 人間力に満ちあふれ、山形の未来をひらく人づくり

### 【県立高校が取り組む教育の重点】

#### 1 挑戦する意欲を引き出す教育

- ◆ 多様な価値観に触れ、互いに高め合うことのできる学習環境の整備
- ◆ 経済社会のグローバル化への対応とICTを活用した教育活動の推進

#### 2 学力の向上に向けた取組み

- ◆ 確かな学力の定着と中高連携の取組みの推進
- ◆ 自ら学び考える主体的な学習への転換と探究型学習の推進

#### 3 地域を支える人材の育成

- ◆ 生命や伝統文化を継承し、地域社会の発展を担う人材の育成
- ◆ グローカルな視点を持ち、地域産業の振興を担う人材の育成

#### 4 幅広い選択肢の確保

- ◆ 望ましい学校規模と幅広い選択肢を確保した再編整備
- ◆ 小規模校での教育の質の確保とキャンパス制や地域と連携した教育活動の充実

#### 5 キャリア教育の充実

- ◆ 体験的な活動を通じた望ましい勤労観・職業観の育成
- ◆ 高校卒業者の県内定着や県外進学者のUターンを促す取組みの推進

#### 6 多様な生徒の学びの場の確保

- ◆ 「学び直し」など多様な学習ニーズへの対応と夜間定時制の昼間定時制への移行
- ◆ コミュニケーション能力の涵養と自立に向けた支援の充実

### 【県立高校再編整備の基本方針】

#### ● 各学科の配置

- (1) 普通科及び普通系の専門学科(理数、体育、音楽)
  - ◆ 8地区ごとに、大学等への進学を希望する生徒への指導体制を整えるために望ましい規模の学校を少なくとも1校配置します。
  - ◆ 必要に応じて、普通科高校(普通系の専門学科との併設校を含む)の再編や「探究科」など新たな学科を設置します。
- (2) 職業に関する専門学科(農業、工業、商業、水産、家庭(含福祉)、看護、情報)
  - ◆ 地域産業や社会の情勢を踏まえ、生徒数の減少に伴う一律的な削減は行わず、全ての学科の学習の場を確保します。
  - ◆ 1学年当たり4学級以上の単独校については、原則として単独校として維持します。
  - ◆ 1学年当たり4学級を下回る単独校については、当面は単独校として維持しながら、更に小規模化が想定される場合には、他学科との再編を検討します。
- (3) 総合学科
  - ◆ 8地区ごとに、少なくとも1校配置できるよう検討します。
  - ◆ 更なる設置については、生徒・保護者や地域社会のニーズを踏まえて検討します。

#### ● 特色ある学校の配置

- (1) 総合選択制
  - ◆ 学校や地域の実情に配慮し、高校教育における質の確保・向上と学校活力の保持の観点から、小規模化する専門高校等を再編し、学科の枠を越えた学習ができる総合選択制高校の設置を検討します。
- (2) 中高一貫教育
  - ◆ 庄内地区については、東桜学館中学校・高等学校の取組みや、全国の併設型中高一貫教育校の成果を踏まえ、地域の意見を聞きながら設置を検討します。
- (3) 普通科単位制(全日制)
  - ◆ 学校独自の科目を含む充実した教育課程を編成し、生徒の多様な進路希望や学習要求にきめ細かく対応する全日制の普通科単位制高校を、8地区ごとに、少なくとも1校配置します。
- (4) 定時制・通信制
  - ◆ 夜間定時制については、状況が整った地区から昼間定時制への移行を検討します。
  - ◆ 多様な生徒が、それぞれの実情に応じて学習の時間帯や形態を選択することができる新しいタイプの高校を、庄内地区に設置することについて検討します。

□お問い合わせ：山形県教育庁高校教育課 高校改革推進室  
〒990-8570 山形市松波二丁目8-1  
☎：023(630)2493 / FAX：023(630)2774

□ホームページ：http://www.pref.yamagata.jp/ou/kyoiku/700013/kokokaikaku/

【平成 27 年度～31 年度の年次計画と各地区の再編整備】（○：1 学級減 ☆：学科改編等 ◆：分校化） ※人数は中学校卒業生数及び今後の見込数、○内の数は学級数

学区	26 年度 学級数 中学校卒業生数	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	各地区の再編整備					36 年度 学級数 対 26 年度生徒数
							32 年度	33 年度	34 年度	35 年度	36 年度	
東	75 学級 ・ 東南村山 61 ・ 西村山 14	キャンパス制 寒河江+谷地 寒工+左沢	○山形中央(普)	○山形西(普)	☆山形東 (探②・普④) ☆寒河江 (探①・一般④)	○山形南(普) ○上山明新館 (普) ○谷地(普)	東南村山地区検討委員会 ◆ 東南村山地区 の再編整備					66 学級程度 ・ 東南村山 54 ・ 西村山 12
	4,369 人	4,309 人	4,184 人	4,219 人	4,250 人	3,921 人	3,948 人	3,840 人	3,892 人	3,877 人	3,798 人	▲571 人
北	31 学級 ・ 北村山 14 ・ 最上 17	◆新庄神室産業高校 真室川校 キャンパス制 新北+最上 新南+金山 神室+真室川	楯岡(普) 東桜学館 中・高	○新庄南(普)	○北村山(総) ☆新庄北 (探①・一般④)		最上地区の再編整備 再編整備計画に基づき、学校の配置、学科構成、昼 間定時制の設置について具体化し、再編整備を行う。					25 学級程度 ・ 北村山 13 ・ 最上 12
	1,624 人	1,705 人	1,674 人	1,710 人	1,613 人	1,616 人	1,581 人	1,419 人	1,479 人	1,446 人	1,319 人	▲305 人
南	42 学級 ・ 東南置賜 30 ・ 西置賜 12	キャンパス制 長工+荒砥	○米沢工業(工)		○南陽(普) ☆米沢興譲館 (探②・普③) ☆長井 (探①・一般④)		東南置賜地区の再編整備					35 学級程度 ・ 東南置賜 25 ・ 西置賜 10
	2,073 人	2,046 人	2,140 人	2,043 人	1,918 人	1,867 人	1,857 人	1,719 人	1,773 人	1,769 人	1,770 人	▲303 人
西	55 学級 ・ 田川 32 ・ 飽海 23	○鶴岡工業(工) ○酒田光陵(商) ☆遊佐(普→総) キャンパス制 鶴南+山添	○酒田光陵(普)	○庄内農業(農)	○鶴岡北(普) ○酒田西(全・普) ☆酒田東 (探②・普③) ☆酒田西(定)→昼間定時	○鶴岡中央(総) ○酒田光陵(工)	田川地区の再編整備 再編整備計画に基づき、学校の配置、学科構成、 定通併設高校等について具体化し、再編整備を行う。					42 学級程度 ・ 田川 24 ・ 飽海 18
	2,784 人	2,624 人	2,618 人	2,636 人	2,493 人	2,408 人	2,322 人	2,213 人	2,261 人	2,183 人	2,160 人	▲624 人
計	203 学級	2 学級減	3 学級減	3 学級減	4 学級減	5 学級減	18 学級程度減					168 学級程度
	10,850 人	10,684 人	10,616 人	10,608 人	10,274 人	9,812 人	9,708 人	9,191 人	9,405 人	9,275 人	9,047 人	▲1,803 人

《 県立高校の再編整備に関する基本方針 》

- (ア) 再編整備による新しい学校づくりなどを通して、高校として望ましい学校規模(1 学年当たり 4～8 学級)を確保し、教育の質的な向上と学校の活力の保持を図ることを基本とします。なお、1 学年当たり 4 学級を下回る学校については、キャンパス制の導入や地域との連携等により、教育環境の改善に努めます。
- (イ) 1 学年当たり 2 学級の学校については、入学者数が 2 年連続して入学定員の 3 分の 2 に満たない場合は、その翌年度から入学定員を 1 学級分に減じ、更にその 2 年後に分校とします。ただし、この基準の適用に当たっては、学科等の特殊性や交通事情等の地域の実情に十分に配慮します。
- (ウ) 1 学年当たり 1 学級の学校※については、入学者数が 2 年連続して入学定員の 2 分の 1 に満たない場合は、交通事情等の地域の実情に配慮しながら、原則としてその 2 年後に募集停止とします。 ※この場合、分校も 1 つの学校と見なします。

